



▲120人が出席した阿仁病院の診療所移行に係る阿仁地区住民への説明会

市立阿仁病院の診療所移行に係る阿仁地区住民への説明会が16日、山村開発センターと農村環境改善センターの2箇所で行われました。住民およそ120人が出席した説明会では、岸部市長や伴病院長らの挨拶のあと、担当職員がこれまでの病院の歩みや経営状況の推移、21年度の診療体制計画などについて説明しました。

## 阿仁病院の「診療所」移行は10月に

### 阿仁地区住民に説明会を開催

の診療所計画は、病床(当初計画で19床)を設置できないもの、これまでの診療体制をそのままに継続するというものです。

質疑では住民から「地域の医療サービス維持のため有床にできないか」、「入院を確保して欲しいとする地域住民3200人の署名・陳情に配慮して欲しい」などと、阿仁地域から入院病床が無くなることへの懸念の声が数多く出されました。

これに対して市長は「医師確保が極めて困難なのに加え、コストも膨らんで経営を圧迫する」、「入院確保のための医師の招聘に努力したが、状況が厳しく残念である」などと、住民要望を重く受け止めつつも、医師不足や財政事情といった課題が大きいことの理解を求めました。

また、診療所移行の時期を4月から10月に変更した理由について市長は、「国による公立病院支援関連の政策決定がずれ込んで、その結果を待ったからの移行とした方が良いと判断した」と答え、国の新たな医療機関への財政支援策を受けて、市民病院の開院と合わせた新たな阿仁診療所のスタートとなることを説明しました。

## 森林を育て、地域のエネルギーに利用

### 木質バイオエタノール製造実証プラント安全祈願式

木質バイオエタノール製造実証プラントの安全祈願式がクリーンリサイクルセンター敷地内で行われ、研究所員や県、市の関係者ら約30人が建設までの工事の安全を祈願しました。当施設は、独立行政法人森林総合研究所が、林野庁による平成20年度森林資源活用型ニュービジネス創造対策事業において、「木質バイオエタノール製造システム構築の実証事業」を行うため、市内坊沢の市リサイクルセンター敷地内に実証プラントとして設置するものです。



▲工事の安全を祈りくわ入れを行った「木質バイオエタノール製造実証プラント安全祈願式」

および北秋田市が協力し、平成20年度から24年度までの5年間にわたり技術実証及び施設改良を行います。バイオエタノールの原料は、食糧と競合する恐れがないスギ林地残材等を用います。実証プラントでは年間125キロリットルの規模で生産を行い、5年後に木質バイオマス1トン当たりバイオエタノール250リットルの収率、および1リットルあたり100円の生産コスト実現を目指します。

この事業は、北秋田市が農林水産省に提案したバイオマスタウン構想にも位置づけられています。この日、リサイクルセンター敷地内で行われた安全祈願式では神事のあと、亀井俊水森林総合研究所理事、岸部市長らがくわ入れを行い、工事の安全を祈願しました。神事を終えた亀井理事は「当研究所が、つくば市(茨城県)の研究所を離れて実証実験をするのは初めてのことで、研究所の力量と努力が問われることになる。事業を通して、この地域の皆さまのお役に立てると幸いです」とあいさつしました。

## 地域の理解で精神障害者支援を

### 精神障害者の理解促進講座

北秋田保健所(豊島優人所長)が主催する「精神障害者の理解促進講座」が1月13日、北秋田市交流センターで開かれ約50人の参加者が、精神保健に携わる専門家の講演や意見交換で精神障害者の自立や地域支援などについて理解を深めました。

県では「精神障害者退院促進支援モデル事業・支援事業」全県で実施しており、入院患者の社会復帰を目指して取り組みを進めています。開会にあたり、豊島所長が「精神障害患者は10年前と比べ約2倍。県では、現在約900人と推計されている入院患者のうち、約400人の地



▲約50人の参加者が講演や意見交換で理解を深めた「精神障害者の理解促進講座」

域移行を目標として取り組みを進めている。地域での受け入れには住民の理解が不可欠。一人でも多くの患者さんが、地域に戻れるよう理解と協力をお願いしたい」とあいさつ。この後、秋田大学医学部保健学科の米山奈奈子准教授が「障がいを抱える仲間とともに暮らせる地域をつくる」精神障がい者の理解とおつきあいのコツ」と題して講演しました。米山准教授は「精神障害を抱えた人は、『特別な人に起こる病気』ではなく、『事件を起こしたりする危険な人ではない』などと、誤解、偏見や差別の対象とされてしまうことがよくあるが、これは、病気について良く理解されていないことが大きな原因」と切り出し、患者数などの統計数値や、病気の類型などについて説明しました。また「誰もがこころの病気になる可能性がある。しかし、地域で人々が孤立せずつながっている感覚を信じられる人間関係があると、病気であっても障害があっても何とか生きていくことができる」と地域での理解が課題解決の大きな力になることを訴えていました。

## 2月7日～7日

### 生活習慣病予防週間 ～自分流楽しく続ける健康づくり

私たちが毎日積み重ねている、食事、運動、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣の影響をうけて発症したり、進行する病気の総称を「生活習慣病」といいます。主な生活習慣病には、がん・脳卒中・心臓病・糖尿病などがあります。これらの病気は、生活習慣を見直し、改善することで予防ができます。

- 2日(金)▽大太鼓叩き初めに参加(大太鼓の館)
- 4日(日)▽北秋田市消防出初式で統監(阿仁支所)
- 5日(月)▽年頭の訓示(市役所)▽年頭の訓示(秋田内陸縦貫鉄道)▽年頭の訓示(公立米内沢総合病院)
- 7日(水)▽北秋田市上小阿仁村病院組合議会議員全員協議会に出席(公立米内沢病院)
- 8日(木)▽北秋田市教育センター所員発表会に出席(文化会館)▽鷹巣地区新春交流会に出席(中央公民館)
- 9日(金)▽合川地区新春交流会に出席(サンシャインあいかわ)
- 10日(土)▽北秋田地区交通指導連合会査閲式に出席(合川支所)▽北秋田地区防犯指導連合会査閲式に出席(合川支所)
- 13日(火)▽木質バイオエタノール製造システム実証プラント地鎮祭に出席(緑ヶ丘地内)
- 15日(木)▽阿仁森吉地区新春交流会に出席(阿仁ふるさと文化センター)



▲北秋田市出初式観閲台で(1/4)

## 市長日誌

◇1月1日～15日